

果樹の安定生産に向けた支援

札幌市（広域（園芸））令和3年

対象：JAさっぽろ果樹部会43戸

1 課題設定の背景

現状と課題

- ・大都市近郊の観光果樹地帯
- ・新規参入等多様な農業者
- ・栽培技術の個人差により収量品質のばらつきが大きい
- ・病害虫、鳥獣害などによる突発的な被害の発生

具体的な対策

- 果樹生育・病害虫発生予察調査・巡回
 - ・りんご、おうとう等生育状況の把握
 - ・病害虫発生状況の把握
- 情報提供による栽培支援
 - ・適期防除、適期収穫に向けた各種情報提供
- 講習会の開催
 - ・栽培上の課題及び対応策の提案

収量・品質の安定化

2 活動の内容と成果

(1) 果樹生育・病害虫発生予察調査・巡回

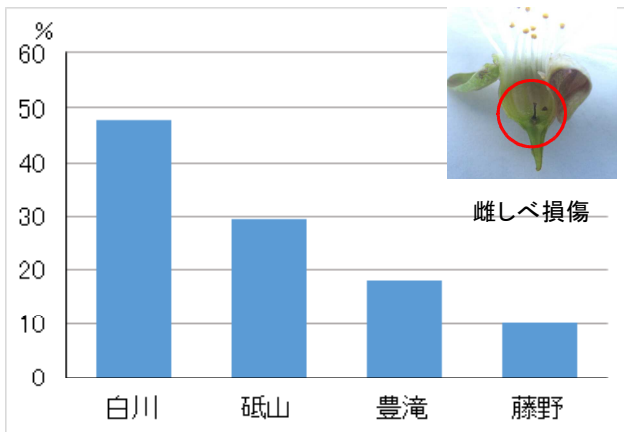
果樹の生育状況及び病害虫の発生予察調査(2カ所)により栽培実態を把握し、農協を通じてタイミング良く情報提供を行った。



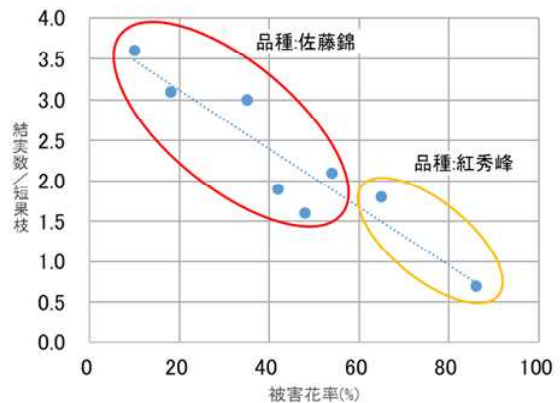
おうとうの霜害が発生

一部園地で霜害の影響を確認

減収は一部に限られた



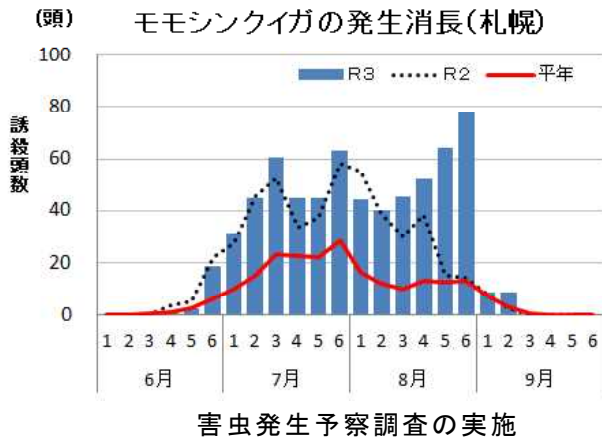
おうとう霜害程度の地域差



おうとうの霜害程度と結実数

(2) 情報提供による栽培管理支援

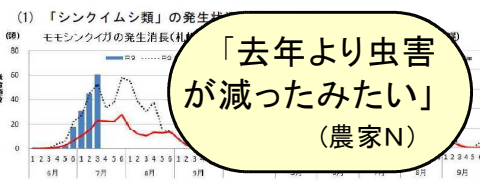
各地域の生産組織を中心とした個別巡回及びFAX等による情報提供を行った結果、病虫害による被害は少なく、適期収穫により収量、品質は確保できた。



果樹情報 (vol.4)

令和3年7月19日(月)発行
石狩農業改良普及センター石狩北部支所
(Tel: 0133-23-2146)

シンクイムシ類の発生に注意
すもも(ブルー)・りんごなどの果実に被害をもたらすシンクイムシ類成虫の発生が多くなっていますので注意してください。



害虫予察調査に基づいたFAX情報の発信

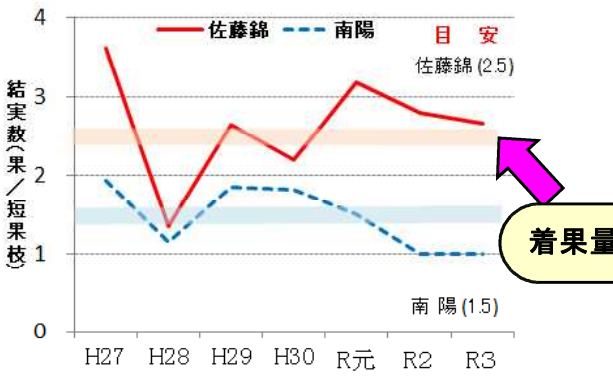


表 おうとうの果実品質調査結果

品種名	平均1果重 (g)	平均糖度 (Brix%)
佐藤錦	8.5 (7.9)	16.5 (15.5)
南陽	12.0 (10.8)	17.6 (16.6)

* ()内はR2

果実大きく
糖度も高い

(3) 講習会の開催

次年度に向けて、講習会により本年度の果樹の生育経過及び栽培上の課題をあきらかにし、注意すべき病虫害について防除対策を提案した。

「おうとう」でみられた病虫害・生理障害

① 灰星病
5/31 灰星病(幼果のカサバ症状) 7/8 灰星病

② オウトウハマダマミバエ
6/10 ミバエ産卵痕(左と卵(右))

<発生要因・例>
・防除農薬の選定を誤った
5/22 アグロスリン水和剤
6/2 *サムコルフロアブル
*散布時期が良いが、ミバエ類に登録のない農薬を散布

1 「りんご」病虫害防除例

時期	注意すべき病虫害	薬剤名	希釈倍率	水100L当たりの散布量	10a当たりの散布量	注意事項
休眠期	腐心病 モニリア病	(殺菌剤) 石灰硫黄合剤	100倍	10g	200L	1. 腐心病被害部は完全に削り取り、散布剤を散布する。塗布剤としてトップジンMペースト、トップジンMオイルペースト。 2. 腐心病・黒星病の発生地域では、発生を防止しなくてはならない。 3. ハダカニ、カイガラムシ類の越冬密度が高い場合は、休眠期にハダカニオイル900倍、又は、発芽10日後にハーベストオイル2000倍を散布する。 4. ペアランは地裏剤と混用する場合、最後に加用する。ただし、マシラシ菌類の発生は、先にペララン混用を認める。 5. マシラシ菌類とストライド顆粒水和剤の混用は避ける。 6. 殺虫剤として
		又は トップジンM水和剤	1,000倍	100ml		
展葉7日後	腐心病 モニリア病 黒星病 「カサバ」病	(殺菌剤) ペアラン液剤25	1,000倍	100ml		7. 臨時防除は展葉7日後から開花前まで、防除期間が10日以上空きそうの場合に実施する。
		又は ストライド顆粒水和剤	1,500倍	66g		
臨時防除 注意事項 参照	黒星病	(殺菌剤) アンチスター水和剤	500倍	200g		1. 殺虫剤として
		又は ペララン液剤25	1,000倍	100ml		
開花直前	黒星病 モニリア病	(殺菌剤) ネオスターフロアブル	1,500倍	66ml		2. 殺虫剤として
		又は オルブフロアブル	4,000倍	25ml		
開花10日後	黒星病 黒点病	(殺菌剤) ハマキミン錠	5,000倍	20g		3. 殺虫剤として
		又は 「六甲三輪」	(殺菌剤) 注意事項参照			
落花期	黒星病 黒点病	(殺菌剤) ニュートクス顆粒水和剤	2,000倍	50g		4. 殺虫剤として
		又は ジマンダイセン水和剤	500倍	200g		
落花10日後	黒星病 黒点病	(殺菌剤) ジマンダイセン水和剤	500倍	200g		5. 殺虫剤として
		又は オニオサイド水和剤90	800倍	200g		
落花10日後	黒星病 黒点病	(殺菌剤) サノックフロアブル	800倍	200g		6. 殺虫剤として
		又は サムコルフロアブル	800倍	200g		
落花10日後	黒星病 黒点病	(殺菌剤) シンクイムシ水和剤	100倍	10g		7. 殺虫剤として
		又は トップジンM水和剤	1,000倍	100ml		

「防除例があるので助かっています」
(新規参入農家T)

果樹栽培上の課題及び適期防除体系について情報提供

3 今後の対応

果樹経営の安定化に向けた栽培支援

- (1) 果樹生育状況及び病虫害発生予察調査と個別巡回。
- (2) 栽培技術習得と品質の高位平準化に向けた情報提供。
- (3) 果樹振興に向け関係機関との情報共有。



地域係や関係機関と
連携した支援継続